

使用済み切手でアジアの子どもたちの命を救おう!!



社協では使用済み切手を集めています!!

皆さまから寄附された使用済み切手は、日本キリスト教海外医療協力会に送っています。

日本キリスト教海外医療協力会では、1960年よりアジアを中心とする医療に恵まれない地域に医療従事者を派遣し、アジアの人々の健康作りに協力しています。また各国で医療従事者を目指す人々の援助も続けています。

皆さまからの使用済み切手は、十分な医療を受けられないために命を落としていく人々、中でもその犠牲となることの多い子どもたちを救うことになるのです。



- 切手の種類は問いません。普通の80円切手でもOKです。
- 切手のまわりは5mm~1cmはなして切り取ってください。

集まった使用済み切手はお近くの社会福祉協議会事務局へお持ちください。

ペットボトルのふたで子どもたちの命を救おう!!



ボランティアサークル「乙女座」では ペットボトルのふたを集めています!!

ポリオという病気を知っていますか？ポリオとは、六大疾病のひとつで運動神経を壊す恐ろしい病気です。発病すれば、ほとんどの子どもは死ぬか、体に運動神経麻痺の後遺症を残してしまいます。私たちは小さい頃に受けた予防注射のおかげでポリオなど六大疾病から守られていますが、世界では1日約6000人の5歳未満の子供たちがこれらの病気で亡くなっています。

しかし、ワクチンがあれば100%防げるのです。ポリオワクチンは注射ではなく、たった2滴口の中に落とすだけ。しばらく時間を空けて2回受ければ終わりです。それで子供たちは一生ポリオを知らずに暮らせるのです。

ペットボトルのふたは約1600個で
1人分のワクチンになります。

回収箱を役場各支所、社会福祉協議会各事業所、町内小中学校等に設置しています。

編集後記

5月13日に子どもボランティア教室で美化運動をおこないました。予想よりも多くの児童が参加し、みなワイワイと楽しくボランティアをしました。

ボランティアとは、自ら進んでおこなう奉仕活動のことを言い、日本では平成7年の阪神・淡路大震災で全国からボランティアが被災地に駆けつけたことから、平成7年は「ボランティア元年」と呼ばれています。ボランティアには3原則があり、自主性・無報酬・公共性ですが、子どもたちには何よりも自主的に楽しんで取り組むように教えています。子どもたちは本当に素直です。笑顔で通りすがりの人に挨拶をしている姿を見ながら、その心を持ち続けてほしいなと感じています。

もうじき「福智町ボランティア連絡協議会」が立ち上がります。ボランティアは「与えること」ばかりではなく、「与えられること」も多くあります。出会いとふれあいを求め、あなたもボランティア活動に参加してみませんか？（高橋）

社協情報 ふれあい 第4号

平成19年6月発行

編集 福智町社会福祉協議会 地域福祉課
発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

〒822-1211

所在地 福岡県田川郡福智町伊方4491番地2

電話 0947(22)3778
ファックス 0947(22)5295